

参院農水委

# 家族経営の発展重要

## 「小農宣言」 受け農相 具体的支援策触れず

吉川貴盛農相は27日の参院農林水産委員会で、「小農の権利宣言」が国連総会で採択されたことを受け、「家族農業経営の健全な発展が重要」との認識を示した。ただ、小規模農家への具体的な支援には触れなかった。

「補正予算を活用しつつ災害に対して強靱(きょうじん)な農山漁村をつくり上げたい」と強調。ハウス対策は、都道府県

が定める計画を踏まえて進める方針を示した。自民党の藤木眞也氏への答弁。

機導入支援に加え、乳業工場への支援も検討する考えを示した。無所属の小川勝也氏への答弁。

の採択を棄権した理由の説明を求めた。吉川農相は「小農民の権利について議論が未成熟。人権の保障については、既存のメカニズムを活用することが効果的だ」と述べた。小農の支援をどう進めるかについて、吉川農相は「小農民、地方で働く人の人権の保護自体は重要」と述べるにとどまった。ただ、家族農業経営は「国内農業経営体の98%を占める」と指摘。健全な経営発展を目指すとした。

国民民主党の藤田幸久氏は政府に対し、同宣言

農業分野のインフラ強化に向けて、吉川農相は